

関心のあることを、粘り強く懸命に追い求めて

松浦朝奈 東海大学農学部応用植物科学科准教授

世界の食料を救う雑穀。 健康への高い期待も

東海大学農学部で教鞭をとって16年目になります。砂漠化地域や熊本県での食料増産に関心があり、現在は健康食品として需要の高いアワ、ヒエ、キビなどの雑穀の作物学研究を進めています。特に、雑穀の根の周りで起こる土壌乾燥や湿害、塩害など環境ストレスに対する生理生態反応を調べ、植物体内で何が起きているのかを明らかにしています。

近年、過放牧や不適切な栽培管理によって、砂漠化が深刻になっています。世界人口は今後も増え続けるため、食料を減らすことはできません。日本においても一時的な水不足から水害・塩害などによって食料生産は大きく影響を受けています。

このような状況から、今後も食料生産を増やし続けていく必要があります。雑穀とはアワ、キビ、ヒエなどの「イネ科の小粒穀類」のことで、イネやマメより少ない水で多くの食料が得られるため、古くから世界中の乾燥地帯でも栽培されてきました。コメよりミネラルやビタミンが多く、

がん細胞の増殖を抑制する効果も見られているため、健康食品として人気があります。

現在「どのような環境でも旺盛に育成する雑穀には、どのような特徴があるのか」について明らかにするため、水耕栽培や砂耕栽培で雑穀を栽培し、土壌の乾燥や塩分過剰、過湿など根の周りで起こる環境ストレスに対する生育反応を詳しく調べています。

一生一度きりの人生を 思いきり楽しんで！

私には中学生の息子がいます。私にとっての“宝”とはこの息子と、そして「雑穀の種子」です！(笑) 育児とワークとの両立を目指し、また子どもにも過度に負担をかけないように気をつけながら、仕事に取り組んでいます。

研究者や専門職を目指している女子学生へは「一度しかない人生を、思い切り楽しんでください」と伝えたいです。自分が本当にやりたいことを見つけ、それが職業となるよう最大限の努力をすること。粘り続けて行動すれば、必ず夢は叶います。



研究室の学生たちと2012年九州北部豪雨のボランティアに参加



日本では栽培されていない耐塩性の強い雑穀「コルネ」の穂



Asana MATSUURA

農学部 修士課程 博士課程 大学非常勤講師 大学教員

One day

6:00 起床
7:30 大学へ
講義・研究指導・論文
会議など
17:00~21:00 終業→帰宅
1:00 就寝(目標)

研究の
楽しさを
恩師から教えて
いただいた

◎宝もの
子ども・雑穀の種子
◎リフレッシュ方法・落ち着く場所
自宅寝室・温泉

profile

まつうらあさな / 1996年鳥取大学連合農学研究科博士課程修了。1997年より現職。

砂漠化地域や熊本県での食料増産に関心があり、現在健康食品として需要の高いアワ、ヒエ、キビなど「雑穀」の作物学研究を進めている。特に雑穀の根の周りで起こる土壌乾燥、湿害、塩害など環境ストレスに対する生理生態反応を調べ、植物体内で何が起きているのかを明らかにしている。

アンケート より

Q.女性ということでのどのような場面で不愉快だと感じたのですか？

- 「女の計算はあてにならない」という発言を聞いたとき
- 役所や企業に男性と同行したときの相手の態度の違い
- あからさまに「女性研究者はとらない」と公言している教授がいるという話を聞いたとき